

令和 年 月 日

大阪府教育委員会教育長 様

記入例

ふりがな

志願者名

小学校等名

生年月日 平成 年 月 日

保護者名

令和5年度大阪府立中学校入学者選抜適性検査等配慮事項申請書

大阪府立中学校入学者選抜における配慮について、下記のとおり申請いたします。

記

1 志願先中学校 大阪府立 中学校

（分野（咲くやこの花中学校の志願者のみ）
ものづくり（理工） ・ スポーツ ・ 言語 ・ 芸術（美術・デザイン））

2 帰国に係る状況（父・母・本人等の状況について具体的に記入する。）

○帰国時期、出入国履歴及び外国での学修歴を明記する。出入国の機会が多い場合には、出入国履歴及び小学校入学以降の学修歴を明記する。

2010年4月20日に〇〇で生まれ、2016年9月より現地校である△△ Schoolに就学した。父の仕事のため、2019年7月に来日し、2019年9月1日に〇〇市立■■■小学校に編入した。2010年4月20日から2019年9月1日までの間、短期滞在を除いて日本への渡航歴はない。

3 帰国後の日本語の習得の状況（帰国者センターに入所していた等、具体的に記入する。）

- ・2019年10月より、地域の日本語教室に週2回のペースで通い始める。
- ・簡単な日本語のやりとりは可能であり、ひらがな、かたかなの読み書きはできる。
- ・漢字の習得については、小学校3年生程度である。

様式B (日本語指導が必要な帰国児童等)

4 希望する配慮の内容 (事前相談したうえで記入する。)

- ・ 学力検査時間の延長についての配慮 (1.3倍)
- ・ 別室
- ・ 作文のキーワードの〇〇語併記
- ・ 学力検査問題へのルビうちの配慮
- ・ 日■辞典、■日辞典の持ち込みについての配慮

5 学校所見欄 (編入時期、編入した学年、編入後の日本語の習得状況、支援内容等を詳しく記入する。)

本校に編入した当初は、本人が日本語で意思を伝えることが難しい場面があったが、地域の日本語教室や通級による日本語指導を通じて、少しずつコミュニケーションをとることができるようになった。現在は、友人と日本語で会話する場面も見られ、積極的にコミュニケーションをとれるよう周囲が声かけをするなど、心がけている。

【小学校等具申】

令和 年 月 日

受験上の配慮の申請について、上記のとおり相違ないことを具申します。

小学校等名

校長名

印

【市町村教育委員会副申】

令和 年 月 日

受験上の配慮の申請について、上記のとおり相違ないことを副申します。

教育委員会

教育長

印